

学習状況診断票(社会) 小学校 第5学年
5年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点		
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解
わたしたちの生活と食料生産	1	1	1	土地利用図を活用して、土地がどのように利用されているのか、どのような分布が見られるかなど、その特色を読み取ることができる。			
		2	2	ちぢめて書いてある地図ではわからない本当のきよりを、「しゅくしゃく」を活用してあらわすことができる。			
		3	3	米づくりにおいて、あたえすぎると害のでる農薬の量をへらしたり、たい肥を土にまぜよくたがやしたりするという農家の人々の工夫や努力がわかっている。			
		4	4	食料自給率をあらわしている表の品目の数字をもとに、食料自給率の変化をグラフにあらわすことができる。			
		5	5	野菜売り場に、生産者や野菜のつくり方がわかる表示がおかれている理由を、食料品の安全性を確かめるといふ点から考えることができる。			
わたしたちの生活と工業生産	2	1	6	自動車工場で組み立てられた自動車は、検査を受けて完成することがわかっている。			
			7	自動車工場で働くおじさんの話の内容と仕事の様子をあらわしている写真とを結び付けることができる。			
		2	8	日本の自動車会社と世界とのつながりについて、地図にあらわされているしるしの数や場所に注意して、正しく読み取ることができる。			
			9	自動車のアメリカへの輸出台数とアメリカでの生産台数の棒グラフと折れ線グラフの数値や変化を正しく読み取ることができる。			
		3	10	これからの自動車開発についてのレポートの内容から、環境にやさしい車の開発が行われていることがわかっている。			
	3	1	11	愛知県が、どの工業地帯に属しているかわかっている。			
		2	12	工業地帯と工業地域の生産額をあらわしたグラフを正しく読み取り、生産額のちがいをひかくすることができる。			
		3	13	おもな工業地帯、工業地域が海沿いに広がっている理由を、原材料や燃料の輸入や製品の輸出という貿易の観点から考えることができる。			
		4	14	日本では、鉄鉱石や石油といった原材料や燃料のほとんどを輸入にたよっていることがわかっている。			
			15	日本と外国との貿易の仕方について、おたがいの国の願いの一致やそれぞれの国の事情を理解し合い、ルールを決めるといふ点から考えることができる。			
わたしたちの生活と情報	4	1	16	写真資料から、多くの人がかかわって放送番組が作られていくかいていを読み取ることができる。			
		2	17	放送局で働いている人々の工夫や努力について、「情報をわかりやすく、正確に伝える」といふ点から考えることができる。			
	5	1	18	情報を受け取るさまざまな方法の特色や活用の仕方について考えることができる。			
		2	19	インターネットの特色や活用の仕方がわかっている。			
		3	20	情報の発信にあたって、個人情報の保護が必要なことなど、情報を正しく活用することの大切さを自分の問題として考えることができる。			
						/6	/8

今後の学習に向けて ※自分がかんばりたいところに○を付けましょう。

思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・「どのような点から考えるとよいか」「考えのもとになることは何か」に注意して考えをもち、仲間の考えとくらべ、たがいの考えをふくらませていく話し合いに取り組みましょう。 ・自分の考えをノートに書くように努め、考えの変化を見つめたり、これまでの学習や生活と結び付けてまとめたりすることを大切にして取り組みましょう。
観察・資料活用・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・資料やグラフを活用するときには「人の動きから、どんな様子がわかるか」「数字から、どんな変化があるか」といったわかることを見つけ、「なぜそのような様子が見られるのか」「変化している理由は何か」を考えていきましょう。 ・調べたことを図やグラフ、表などにあらわし、仲間にわかりやすく伝えましょう。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・見学したことや調べたことをノートなどにまとめて書いたり、図にあらわしたりするようにしましょう。そのときに、見出しをつけたり、順序を矢印を使ってあらわしたり、大切なことを線で囲んだりするなどの工夫をしてみましょう。 ・学習後、ぎ問に思ったことについて、図書館や地域の人、施設などを活用して、自分から進んで調べましょう。